



議会だより

# ピッツシリ



羽幌町議会HP

第109号

2019年

1月23日

発行



## 格闘クラブ羽幌道場の初稽古

(1月8日撮影)

特集【新春議員インタビュー】 ... P2~3

【定例会・臨時会】 ... P4

【議会・行政改革特別委員会】 ... P5

【常任委員会報告】 ... P10~11

特集【議会傍聴】 高校生の声 ... P12

【一般質問】 ... P6~9

- 羽幌町における住宅整備と建築業の振興
- 羽幌町の人口減少対策にさらなる強化を
- 旧宮坂ビルに対する行政の対応
- 今後の羽幌町の財政健全化
- 羽幌町の住宅事情と公営住宅対策
- ハートタウンはぼろからの店舗撤退の影響と今後の運営

ぜひ議会の傍聴にお越しく下さい

次回の定例会は **3** 月です

■発行：北海道羽幌町議会 ■編集：議会広報特別委員会  
北海道苫前郡羽幌町南町1番地の1

議会事務局 TEL (0164) 68-7011 FAX (0164) 62-1278

# 「4年間を振り返って」

## 今、伝えたいことは…



※議席番号順

### とても有意義な4年間

早いもので平成26年11月の補欠選挙で町議会議員に初当選してから4年が経ちました。この間私なりに、一生懸命活動してこられたのも応援してくれた方々や、先輩議員のご指導のおかげと感謝しています。多くの経験もさせて頂き、議員が大切な役割を担っていると感じて痛感しています。常に議会、委員会等で質問・意見を発信してきましたが、この姿勢は変わることもなく、町の発展や町民のためになると思うことは、言葉を出し続けていきます。



村田 定人 議員

### 金木 直文 議員



### 宮坂ビルと住民自治

旧宮坂ビルについて、平成27年3月議会以降の一般質問で、5人の議員が7回質問しました。まさに、この4年間でクローズアップされ続けた問題でした。

このたびの町長選の争点の一つでもあり、選挙において結果が出た格好ですが、現町長を支持したのは51・8%。「このままでよい」とするか「なんとかかしてほしい」と考えているか。ここは政争とせず、現在の羽幌町が抱えている課題の一つとして町民全体で考え、方向性を検討していくべきと考えます。

### この町の未来のために

この4年間は議員と仕事との両立で、本当にあつという間の4年間でもあり、周りの人たちに支えていただきながらの4年間でした。

議員として、町民の皆様の声に耳を傾けながらの議員活動はもちろんのことですが、この町の未来のために何をすべきなのか、また、何がマイナストとなるのかを考えた日々でした。

今任期も残すところあとわずかとなりましたが、議員としてブレずに、そして真つすくばに活動していきたいと思えます。



阿部 和也 議員

### 船本 秀雄 議員



### 羽幌町の課題解決の役割

羽幌町は人口減少や高齢化社会の進行の中、多くの課題を抱えております。議会が果たす役割は行政のチエツク機能だけではなく、住民の意見を聞き、それらを取りまとめ、地域の課題として政策立案「まちづくり」、条例制定などによる課題解決が求められます。今こそ行政と議会が車の両輪となつて取り組まなければなりません。チエツクとバランスを考えた行政運営こそが町民の福祉向上と地域を発展させる力になるのではないでしょう。

子ども達の不安や疑問、お母さん達の未来への明確な提案など「町民の代弁者」として、町長や行政に伝える役割を果たすべく4年間活動してきた。しかし、行政には上手く届かなかつた。

これからも諦めず、伝える行動や提案をしっかりと行っていきたい。行政は十分な検討を行う姿勢と丁寧な説明を心がけてほしい。

町民・議会・行政が同じ方向に歩んでいくためにも町民の声を届けていきたい。

町民が議会や町政に関心を持ってもらえるようにさらなる努力をしたい。



小寺 光一 議員

# 新春インタビュー!! 第3弾



## 羽幌町議会議員 10名 全議員にお聞きします!

平山 美知子 議員



**議令 行政改革特別委員会の設置**  
今期は議会の大きな取り組みとして、議会の責任、住民代表としての機能拡充、更なる活性化に向け、議会・行政改革特別委員会が設置されました。議会改革を進めていくため講師を招いての議員研修会を実施し、研修を受けたことにより自分自身知識を深めることができました。また、一般町民との意見交換会を3回開催し、色々な意見をいただくことができ、出された意見をくみ取り、議会、行財政に反映していくことが目的の一つでもあります。議会が住民から理解され、町民の幸せのため議会の機能を果たしていかなければと思います。

磯野 直 議員



### 試される行政の力

昨年は各地で大きな自然災害に見舞われ、本町においても予想外の停電や断水が発生し、住民生活にも大きな影響を及ぼす事態となり、いままさらながら防災対策の難しさを痛感させられた一年であった。また、年末には、七十年ぶりに漁業法が改正された。これにより民間企業の参入が可能になるが、やる気のある漁業者が排除されることのないようしっかりとチェックする必要がある。地元の漁業者を守るため行政の力が試される時代になるであろう。

逢坂 照雄 議員



### 活力ある町 羽幌!

議員として4年間初めて町政にたずさわったわけですが、なかなか思うような一般質問や意見・提言ができず、自分自身大変歯がゆいおもいをしました。さらに、自分が掲げた公約や目標も到底満足するものではありませんでした。  
今後は、この4年間で得た貴重な体験と経験を生かし、「町民目線を原点」として、福祉・医療・子育て環境の充実はもちろんのこと、地場産業の発展に、一つ一つ取り組んでまいります。

寺沢 孝毅 議員



### 議会改革の総仕上げを!

2019年は選挙、改元、米中貿易不安、消費増税など私たちの暮らしに影響する単語が並び、羽幌町も激浪のなかの航海を余儀なくされるかもしれません。  
私たち議会議員は4月に改選を迎えます。今期取り組んできた議会改革、つまり一般質問の持ち時間延長、住民懇談会の開催、議事録の公開、さらには政策提言の研究などを、任期中に仕上げ、継続できる形にすることが重要です。当町の未来に希望が持てるよう、議論を深める場としての開かれた議会へ、さらに一歩近づけるための、いよいよ総仕上げです。

熊谷 俊幸 議員



### 町民と一体の安全安心の町へ

防災対策は大きく夏型、冬型に分けられ、状況に応じた対応が必要で高齢者世帯や一人暮らし世帯には住民組織の支援が必要のため自助・共助・公助の醸成に努め、役割分担と相互連携の必要性を明確にし、町内会への自主防災組織設立新事業等を行い安全安心な町づくりを進めるべきだ。  
また、胆振東部地震ではペットと飼い主の件で避難所内は原則ペットと過ごすことができないために自宅にとどまり、車中泊で心理的ストレスを抱えることが多かったと聞く。動物愛護のためにもペットと同じところで過ごせる避難所等の開設も考えるべきだ。



# 第9回定例会

本議会は平成30年12月13日から14日までの2日間の会期で開かれました。今回は副町長の選任同意、報告2件、議案10件、発議2件が審議され、提案どおり可決されました。

一般質問は4名(6件)で、町の行政に対して活発な議論が展開されました。

## 駒井町政2期目へ



### 【基本理念】

初心を忘れず、誠実、透明、公平、公正で住みよい活気ある町づくりを目指す。

(抜粋)

### 【基本的施策】(主なもの)

1. 基幹産業の振興
2. 財政の健全化
3. 福祉、医療、教育の充実
4. 高齢者向けタクシー運賃の助成
5. 防災力の推進



### ■ 報 告 ■

羽幌町監査委員により10月17日から30日まで、各課の定期監査を行い、財政等に関する事務執行が適正かつ効率的に行われているかを関係書類・帳簿等に基づき確認と聞き取りを実施した。結果、適正に執行したと認められた。

### ■ 同 意 ■ (追加議案)

前副町長江良貢氏の任期満了に伴い、今村裕之氏(55)の選任同意の提案があり、全会一致で同意される。

### 【条例改正】

■天売高校学生寮の設置及び管理に関する条例の改正

学生寮を有効活用するため入居者定員を7人から10人にし、一部屋を一人で使用する場合は月額4万円、二人で使用する場合は月額3万円に改める。

■職員給与・特別職の給与・議会議員の報酬等に関する条例の改正

職員の期末・勤勉手当0・



### 【一般会計補正予算】

△2億3285万円

### 【主な補正内容】

- ・民間賃貸集合住宅建設促進事業 △900万円
- ・離島航路運行補助事業 △507万円
- ・マラソン大会開催事業 △197万円
- ・産業廃棄物埋立処理場適正化事業 △7573万円

### 第8回臨時会(12月6日)

### ■ 請 願 ■

天売複合化施設基本設計予算の速やかな実行と事業の進行を求める請願書  
(全会一致で採択されました)

### ■ 議会用語「請願」とは? ■

国民を始め、広く人々が、国又は地方公共団体等に対し、それらが所管する事項に関し、一定の措置をとるよう、あるいはとらないよう希望し、申し出ること(又は申し出る権利のこと)をいう。

# 議会・行政改革特別委員会

## インターネット配信を検討

(9月28日開催)

### 《第1分科会》

#### (1) 常任委員会の数、

#### 常任委員会の重複所属

#### \* 常任委員会の数

議会広報特別委員会を常任委員会化、名称を『広報広聴常任委員会』とする。

#### \* 常任委員会の重複所属

広報広聴常任委員会との重複所属のみ認める。定員は現在と同じ5人、実施時期は次期改選期から、会議は非公開とする。

#### (2) 傍聴者への議案等

#### 資料の配布

協議の結果、定例会は現状どおり一般質問要旨の配布。常任委員会等は審議途中であることから配布しないこととする。

### 《第2分科会》

#### (1) 意見交換会

前回までの意見交換会開催報告と今後の開催の考えなどを確認し、次回の意見交換

会はボランティア団体を対象に1月中旬以降開催する。

#### (2) 夜間例会・

#### インターネット中継

議会基本条例に関するアンケートで夜間例会、インターネット中継の結果や、留萌管内各市町村の取り組み状況の説明を受けた。夜間例会の実施は、他町村議会の取り組み状況や想定される費用を踏まえると、ハードルが高く難しい。代わりにインターネット中継を前向きに検討していく。羽幌町議会として何ができて予算がどれぐらいかかるのか、第2分科会で調査、検討してもらう。

### 《第3分科会》

#### (1) 議員・議会の政策提言、立案

他市町村では議会基本条例で政策立案と政策提言を規定している。また、事例も紹介され昨年に続き研修会を開いていくことで決定。

(10月23日開催)

### 《第2分科会》

#### (1) 住民との意見交換会の開催

#### 開催

#### \* 意見交換会対象者

福祉・奉仕活動3団体（羽幌ボランティア友里の会、羽幌町赤十字奉仕団、悠・悠クラブ）に決定。

\* 開催テーマ

『羽幌町の福祉について語り会いましょう』

#### \* 開催日時、場所、定員

・平成31年1月中旬～下旬

・時間 午後2時～4時

・場所 中央公民館小ホール

・定員 30名（各10名程度）

事前アンケートも実施

#### (2) 本会議のインターネット中継放送・配信

#### \* 整備の手法案（3案）

① 既存音響システムと連動した映像機器（約500万円）

② 単体のビデオカメラ（約10万円）

③ 既存設備による対応

④ ①・②は他に映像編集、配信用パソコンとインターネット配信用回線が必要

\* 協議の結果

一般質問を録画、編集し配信する。整備内容は第2分科

会でもう一度検討する。

### 《その他》

#### \* タブレット端末

導入費用の見積額を確認。平成31年度予算要望する。

\* 議員研修会開催

昨年に引き続き11月30日町村議会議長会参与の勢旗了三氏を迎え開催。

#### \* 議員報酬

さまざまな意見があり結論出ず、次期の体制で検討する。

#### (11月30日開催)

### 《第1分科会》

#### \* 請願の付託に係る取り扱い方法

現状の取り扱い方で良いとの意見で一致、会議規則にのっとってわかりやすい手続き

《第2分科会》

#### (1) 意見交換会の開催

・平成31年1月28日（月）

・中央公民館 小ホール

・午後2時～3時30分まで

・ボランティア団体友里の会

・日赤奉仕団、悠・悠クラブ

氏を迎え開催。

\* 議員報酬

さまざまな意見があり結論出ず、次期の体制で検討する。

《第1分科会》

#### \* 請願の付託に係る取り扱い方法

現状の取り扱い方で良いとの意見で一致、会議規則にのっとってわかりやすい手続き

《第2分科会》

#### (1) 意見交換会の開催

・平成31年1月28日（月）

・中央公民館 小ホール

・午後2時～3時30分まで

・ボランティア団体友里の会

・日赤奉仕団、悠・悠クラブ

氏を迎え開催。

\* 議員報酬

さまざまな意見があり結論出ず、次期の体制で検討する。

ができるよう、規則の条文を改正し取り進める。

### 《第2分科会》

#### (1) 意見交換会の開催

・平成31年1月28日（月）

・中央公民館 小ホール

・午後2時～3時30分まで

・ボランティア団体友里の会

・日赤奉仕団、悠・悠クラブ

氏を迎え開催。

\* 議員報酬

さまざまな意見があり結論出ず、次期の体制で検討する。

《第1分科会》

#### \* 請願の付託に係る取り扱い方法

現状の取り扱い方で良いとの意見で一致、会議規則にのっとってわかりやすい手続き

《第2分科会》

#### (1) 意見交換会の開催

・平成31年1月28日（月）

・中央公民館 小ホール

・午後2時～3時30分まで

・ボランティア団体友里の会

・日赤奉仕団、悠・悠クラブ

氏を迎え開催。

\* 議員報酬

さまざまな意見があり結論出ず、次期の体制で検討する。

《第1分科会》

#### \* 請願の付託に係る取り扱い方法

現状の取り扱い方で良いとの意見で一致、会議規則にのっとってわかりやすい手続き

《第2分科会》

#### (1) 意見交換会の開催

・平成31年1月28日（月）

・中央公民館 小ホール

・午後2時～3時30分まで

・ボランティア団体友里の会

・日赤奉仕団、悠・悠クラブ



勢旗氏を招いての研修会

### 《議会議員研修会》

#### \* 北海道町村議会議長会 参与 勢旗 了三氏

「議員のなり手不足問題の根源にあるもの」・「議会・議員の政策立案の手法」と題して講演をいただきました。議員のなり手不足の解消は難しく出馬しやすい環境づくりと現職が引退するとき、後継者を見つけていくことが大切である。政策立案には幾つかの方法があり、他市町村の事例を参考に講演していただきました。

阿部 和也 議員



# 問 リフォーム助成事業の継続を

## 答 今後1年かけて振興策を考える



一般質問  
音声配信



良質な住環境の整備を

**羽幌町における  
住宅整備**

**問** 次期公営住宅等長寿命化計画を策定中だと思いが、その進捗状況は。

また、住宅の長寿命化を図る上で、今後の課題となるものはなにか。

**答** 現在、アンケート調査の結果や建物の現況をもとに課題等を整理し、次期計画の素案を作成している。年明け2月頃をめどに議会へ説明したいと考えている。

**地元建築業の振興**

**問** 多くの建築業者から

住宅リフォーム助成事業の継続を求める声を聞いている。こうした声に対してどのように思っているのか。また、建築業の振興策として住宅リフォーム助成事業を継続すべきだと思いが。

**答** この事業の目的はほぼ達成された。建築業の振興策については今後1年かけて検討していきたい。

**問** そもそも目的とは、どのような目的だったのか。

**答** 羽幌町の住環境の整備と建築業振興が目的となっている。

**問** 目的が達成されたというのなら、目標としていた数値等はあったのか。

**答** 目標としていた数値等はない。

**問** 事業の交付決定分の補助対象経費は。

**答** 約6400万円となっている。

**問** この事業は6400万円という地域における

経済効果と、一人親方から従業員を雇用している建築業者と、幅広く町内建築業者の振興策となっていた。今後多くの建築業者が関われる建築業振興策を考えていくのか。

**答** 改築希望が多いのも理解しているし、業者からの要望も聞いている。しかし、不利益を被るといったこともあり、制度の見直しも考えたが難しく、今後1年をかけて振興策を考えていきたい。



地元建築業の振興策を

**問** 平成29年3月定例会で質問した「建築業の現状と住宅施策」に対して、「地元建築業者を選択していただけるような施策の検討」この答弁であった。検討した結果を伺う。

**答** 社宅建設促進支援事業の創設に伴い、補助限度額を高くすることで町内建築業者の選択を促す支援策として、平成30年4月より運用を開始した。

**問** 同様の制度でもある、アパート建設補助あわせ

て今年度の利用実績は。

**答** 1件、2棟7戸である。

**問** 地元建築業者による建設か。

**答** 町外業者による建設であった。

**意見** 町長は、子や孫に借金を残さない財政運営を掲げて再選された。今後は建築業に限ってではないが、子や孫がこの町でしっかりと商売ができ、会社も残していけるような振興策を期待している。

村田 定人 議員



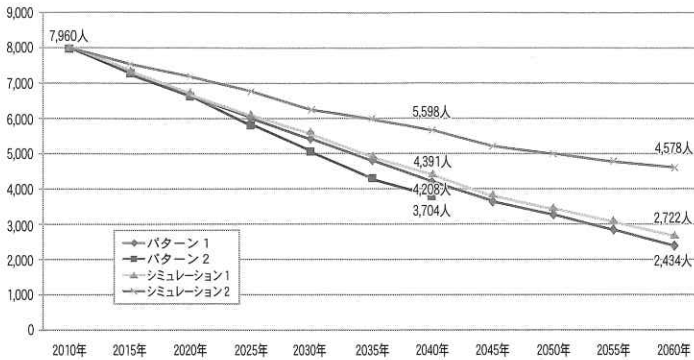
# 問 人口減少対策にさらなる強化を

答 成果を上げるため見直し検討する



一般質問  
音声配信

図表12 (総人口の推計結果)



推計パターン・シミュレーションの概要	
パターン1	社人研推計準拠 (主に平成17年から22年の人口の動向を勘案した将来人口推計) 全国の移動率が、今後一定程度縮小すると仮定した推計
シミュレーション1	パターン1をベースに、2030年までに合計特殊出生率が人口置換水準 (人口を長期的に一定に保てる水準の2.1) まで上昇した場合
シミュレーション2	パターン1をベースに、2030年までに合計特殊出生率が人口置換水準まで上昇し、かつ人口移動が均衡した場合 (転入・転出数が同数となり、移動がゼロになった場合)
パターン2	日本創生会議推計準拠 全国の移動総数が、平成22年から平成27年の推計値と概ね同水準でそれ以降も推移すると仮定した推計

## 人口減少対策の強化

**問** 人口減を食い止めるための「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は31年度で終了だが、次年度以降の計画策定はどう取り進めるのか。

**答** 国において新たな戦略策定の必要性を掲げているものの、具体的な方針は示されていない。取り進め方については、それからの検討になる。

**問** 自然減対策として合計特殊出生率の数値を上げるためや、生涯未婚率を下げるために、新たな施策の強化を考へては。

**答** 合計特殊出生率は過去5年間で、昨年を除き国の数値を上回っているものの、2人に達していない。特に女性の雇用の場が少ないことや、都市部での婚姻等で若い女性の減少が影響していると考え、雇用創出や就労

の場の確保により、Uターンや子育て世代の移住・定住に努めていく。  
生涯未婚率についてはこれまで出合いの機会への支援を行ってきたが、皆さんの意見を聴き、町の現状に見合った取り組みを講じていきたい。

**問** 社会減対策として、高校生や大学生が地元で就職しやすくするための奨学金制度創設や、人口流入を促進するための移住・定住対策は。



羽幌町移住・定住ガイド

**答** 看護師や保育士などを確保するための資金貸付制度や、雇用機会の拡充を目的に雇用促進助成制度を設けているが、さらに若年層の雇用を促進するため制度内容の再検討が必要と考へる。移住・定住対策については基本情報の積極的な発信や、一定期間暮らしやすお試し定住の実施なども有効であると考え、新制度の構築や既存制度の見直しも含め新たな戦略の策定を進める中で検討していく。

**問** 高齢者が生涯この町で過ごしてもらうためには、健康寿命を伸ばす、福祉・医療の充実、交通手段の確保などが挙げられる。先の選挙の公約で、タクシー運賃の助成を掲げていたが、どう取り組んでいくのか。

**答** 高齢者へのタクシー運賃助成は、自動車を手放すことによる外出機会の減少や、閉じこもりの増加を抑制、さらには運転免許証の自主返納も期待できることから、2期目の公約のひとつに掲げた。助成内容などの検討を行うとともに、タクシー事業者とも調整をし、十分に準備を行ったうえで事業化する。

**意見** デマンド化等も含めて、予算を効率よく使いたい。より良い制度となるよう早急に取り組んでほしい。

小寺 光一 議員



# 問 安全対策に消極的ではないか

## 答 負担軽減できるよう進めていく



一般質問  
音声配信

旧宮坂ビルに対する  
行政の対応

**問** 6月の一般質問で「検討する必要があるので、検討に入りたいと考えております」と答弁があったが、対策や具体的な検討は行ったのか。

**答** 現在の旧宮坂ビルは近いうちに倒壊する状況にないので、今後必要に応じて国や道に対し協力や支援を求め、できるだけ当町の負担が軽減できるように進めていきたい。

**問** 具体的な検討をしたのか、しなかったのか。

**答** 私はしていないと申し上げた。

**問** 道との協議を始めたのか。

**答** 新たな宮坂の関係の対処についての協議はしていない。

**問** 約束を破っていないのか。

**答** 新しいものは出ていない。

**問** 財政を理由に空き家対策や安全対策に消極的だと考えるが。



旧宮坂ビル



除外された通学路

### 今後の羽幌町の 財政健全化

#### 財政健全化

**問** 旧宮坂ビルの除却には億単位で費用がかかることや近いうちに倒壊するよくな現況ではないことから、当町の負担が軽減できるよう進めていく。

**答** 具体的などのぐらいかかるのか。

**問** 具体的な数字についてはわかっていない。

**答** 誰が試算をしたのか。

**問** 試算はしていない。

**答** 通学路の安全確保等の課題への取り組みは。

**問** 旧宮坂ビルに隣接する区間は通学路より除外し、周知している。

ールで進め、短期、中期長期的な目標値を持って取り組んでいくのか。

**答** 増税等による歳入の確保や町民サービスの縮減による歳出の抑制など、町民に直接負担がかかるような取り組みや目標値の設定などは予定していない。今後も役場内部の事務的経費において、削減可能な経費は削減していく。各種事業は当初の目的が達成された事業は終了や見直しを行い、町民の方々に必要とされる施策を推進していく。

**問** 目標値も計画もなく進めると言ったが、数字上できちんとあらわせないで財務をやっているのか。

**答** 健全財政を維持していくことを主眼としており、これ以上数値が悪化しないような形で削れるものは削る。ただ、やらなければならないものは進めていく。財政健全化を維持していくという部分で、数値目標等々現在ではそこまで必要はない。



金木直文議員



# 問 公住入居の条件見直しは

## 答 しばらく様子を見て対応したい



一般質問  
音声配信

### 住宅事情と 公営住宅対策

#### 問 今年実施したアンケート調査の集約や分析、関連する計画の進捗状況や策定の予定はどうか。

「なかなか借りる家や部屋がない」という声に対する認識はどうか。

「若年・子育て世帯や高齢者、特に単身世帯の住宅が不足しているものと捉えている。古い年代に建てられた公住は常時空いているが、入所希望者からは「風呂がない」「住宅が古い」等の理由から希望に合う住宅が不足していると考えられる。

#### 問 現在、集計や分析作業を行っている。既存住宅の現況も把握した上で素案作りを進めており、年明け2月以降に議員や町民の意見を頂き、3月中に策定したい。

「公営住宅設備の改善や入居者条件等の見直しについての考えは。」

「現在、進めているアンケート調査の集約や分

#### 析、公営住宅の現況など頂く意見を踏まえ、検討していきたい。

「今年の3月に国交省から、『公営住宅管理標準条例(案)について』の改正について」という文書が送付されている。町での対応や検討は。」

「入居条件での収入上限額の引き上げなどが示されたが、新しい住宅では希望者が多く、対象となる枠を広げると、さらに入居が難しくなることから、しばらく様子を見て対応したい。」

「今後、住宅を設計する段階で、建築関連事業者、電気工事事業者、電気店などとも協議しながら検討すべきではないか。」

「これから計画の策定を進めていくので、時間を取ることができれば考えていきたい。」

#### ハートタウンからの店舗撤退と今後の運営

「このほど、携帯通信事業者の店舗が撤退した。この減収見込み額と全体に対する割合は。」

「年間約115万円、全体収入額の約6・4%である。」



ハートタウン内の店舗撤退スペース

「撤退により生じたスペースへの他店舗等の誘致は。また、当面、どう活用するのか。」

「現在契約している店舗の意向や関係団体、各種事業所等と情報を交換しながら、テナントを募集していきたい。しかし、すぐに見つからないことも予想されるので、町政懇談会等で要望があった街中の休憩スペースとしての開放や、開業へのス

「テップとして試験的に短期間営業するチャレンジショップのスペースとして活用することも検討していきたい。」

「ハートタウンが町有施設となつてからは収支の状況が分かりづらくなつた。特別会計として、チエックしやすくしては。」

「他の町有施設と同様、収益性を求める施設ではないことから、今後も一般会計において会計処理することとし、特別会計を設置する考えはない。」

# 総務産業常任委員会

## 直営で増頭へ

(11月12日開催)

### ◆焼尻めん羊事業の運営

指定管理から町直営へ戻す考えが示された前回に引き続き、協議した。これまでの指定管理で評価すべき点もあった。しかし、限界点もあり、将来にわたり安定した運営で計画的に増頭させ、ふるさと納税返礼品や町内消費の増加へ向けて、町直営に切り替えていく考えは変わらないとの説明があった。

#### 《主な質疑》

【質問】メスの成羊はどのくらいまで増やすのか。

【回答】将来的には種畜と肉用で300頭から400頭くらいにまで増やしていきたい。

【質問】収支見込みで、将来的に赤字を抑えていく計画が必要ではないか。

【回答】羊舎建替えなどでは酪農学園からも助言をもらいながら対応していきたい。以前のコンサルタントの分析と比較や収支計画、目標頭数



焼尻のめん羊

など、検討したい。

【質問】事業の財政状況を明確化させるために、事業会計にする考えはないか。

【回答】現状では一般会計だが、今後においては検討もしたい。

## 11月も支障なく

### ◆除排雪業務

平成30年度の契約内容、除雪距離や実施方法、業務内容等の説明を受けた。

#### 《主な質疑》

【質問】11月中の降雪については、どう対応するのか。

【回答】道路維持業務として事業組合に委託している。支

障のないよう対応したい。

【質問】道、開発等、関連機関との協議は。

【回答】中部3町村も含めた連携会議の中で、交差点での除雪の対応などを確認する。

## 道の駅活性化へ

(11月29日開催)

### ◆観光事業の現況と対策

観光振興事業では、今年度の事業実績や上期観光客入込状況、インバウンド対策などの説明を受けた。また、観光施設の現況と方針、北海道「稼ぐ観光」具体化調査実施モデル事業で道の駅等の活性化計画を策定する予定であることなどについて説明を受けた。

#### 《主な質疑》

【質問】外国からの観光客で多いのは台湾や中国が目立つ。言語の対応は。

【回答】今後作成するパンフレット等は多言語対応を考えた。

【質問】はばろバラ園でのベンチ更新や売店設置の計画は。

【回答】財源がないと難しい状況。トイレも古くなっており、洋式に変えたいとも考えている。

# 防災計画調査特別委員会

## 公民館、福祉センターに9世帯避難

(10月23日開催)

(1)胆振東部地震の発生に伴う対応(主な対応の抜粋)

〈9月6日〉

3時07分 地震発生

20分 職員、順次役場へ

25分 町内停電発生

4時09分 北電から第一報

15分 消防署と連絡調整

5時20分 警察署と連絡調整

25分 課長会議

6時25分 小中学校臨時休校を

広報車で周知

13時00分 避難所と炊き出し

会場設置準備

30分 災害対策本部設置

17時00分 避難所開設、炊き

出し開始

07分 エリアメール送信

50分 20時から断水にな

る旨の周知実施

〈9月7日〉

3時25分 庁舎電気復旧

7時00分 給水再開

9時00分 避難所閉鎖

18時16分 災害対策本部解散

電気の全戸復旧

#### 《主な質疑》

【質問】今回の災害による被害額は抑えているのか。

【回答】具体的には抑えていない。

【質問】避難初日から300食を用意する必要があったのか。どのような判断か。

【回答】特に基準があったわけではなく、まずは300食が必要と判断した。

【質問】入院、入所施設では、どのような状況であったのか。

【回答】健康支援課が各施設と連絡を取り、状況を把握した。食事は電気を必要としなものなどで対応した。

【質問】町のホームページが更新されなかったが、もっと早い対応はできなかったのか。

【回答】サーバーにアップするための設備が羽幌町にあり、停電でダウンした。

(2)防災無線の整備

今後整備する方向性などの説明を受けた。

(3)羽幌町地域防災計画の修正

# 文教厚生常任委員会

## 天売複合化施設、年内に方向性

(10月4日開催)

### ◆天売複合化施設、焼尻小中学校建設

天売複合化施設建設の先送りと、焼尻小中学校建設について、担当課より説明を受けた。

#### 1、天売複合化施設

##### (1)建設の協議に係る経緯

①平成29年8月 天売島において住民懇談会の開催

②平成29年8、10、12月 政策調整会議

③平成30年2月 文教厚生常任委員会

④平成30年8月7日 再検討の決定

⑤平成30年8月29日 天売島においての町政懇談会で説明

#### (2)再検討の協議に係る経緯

①平成30年5月23日 「公立学校等施設整備に係る平成31年度建築計画(6月調査)」の照会

・耐震化未完了設置者の計上

事業について、予算状況によっては、耐震化事業以外の事業について採択段階で除外することを検討。

※羽幌町の場合、焼尻小中学校、天売高校体育館が該当

#### ②協議結果

天売複合化施設の建設については、再度、焼尻小中学校の耐震化と併せ、総合的な検討が必要と判断。

#### 2、焼尻小中学校建設

(1)公共施設マネジメント計画での位置づけ

焼尻小中学校・焼尻総合研修センターの複合化施設として、平成40年度に建替えの予定。

#### 3、今後の方向性

天売複合化施設、焼尻小中学校・焼尻総合研修センターの複合化施設の建設について、財源等、総合的に検討し、年内に方向性を出す予定。

## 乗客・収入伸びず

(10月11日開催)

### ◆離島運賃割引事業

担当課よりフェリー、高速船の収入、乗船人員について報告と説明を受けた。

#### 1、実収入

・フェリー 1843万円

・高速船 2658万円

○事業を開始した平成27年度をベースとし差額分を補填。

今年度はフェリー、高速船合わせて925万円の補填となる。(例年は500万円程度)

#### 2、乗船人員

・フェリー 9996・5人

・高速船1万1854・5人 (小人 0.5人換算)

## 委員会付託の請願を採択

(11月16日開催)

### ◆請願第1号

天売複合化施設基本設計予算の速やかな実行と事業の進行を求める請願

10月23日の臨時会において

委員会に付託された「天売複合化施設基本設計予算の速やかな実行と事業の進行を求める請願」について審査した。

10月4日開催の委員会における調査結果も踏まえ、慎重に審査を行った。

#### 《委員からの意見》

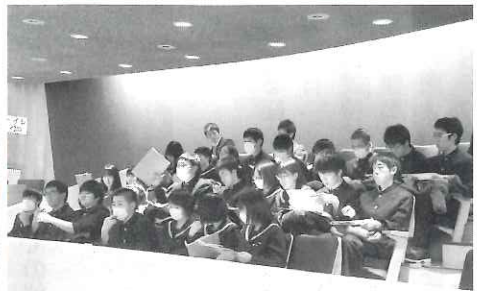
・羽幌町が行う公立学校等施設整備に交付金の対象からの除外については、明確にペナルティーを科すというものがあるわけでもなく、単なる憶測にしか過ぎない。

・焼尻小中学校の耐震化については現段階において具体的な計画も無く、耐震化着手まで相当な時間も要することが予想されることから、焼尻小中学校の耐震化を計画しつつ

天売複合化施設は粛々と整備を進めることにより、全公立学校施設の耐震化が図られる。



天売高等学校



真剣にメモを取る羽幌高校の2年生

※原文のままで掲載

【問1】傍聴する前の議会のイメージは？

- ・「堅苦しい、厳粛、静かなイメージ」が多数。
- ・難しい内容を難しい言葉で討論している感じ。
- ・どんな雰囲気なのかなど、全く想像がつかなかった。
- ・声を荒げてのやり取りがあると思っていた。

【問2】町長・職員と議員のやり取りはいつでしたか？

- ・羽幌の未来のために真剣に話し合っていて、ありがたいなと思いました。
- ・町長は本当にこの町のことを考えているのか少し疑問に思いました。話の内容も違うし、途中で笑っていた。

る態度もあって本当にこの人が町長でいいのかなど思いました。

・話し合いの内容から羽幌町をよりよくするためにいろいろな案を出し合っていることを知った。

・町長の質問に対する答えが、はっきりとしたものがあまりなく、記憶にないという発言も多かったように感じて、残念に思いました。

・議員さんの質問に対して回答があまりない部分があったと思う。難しい話だったのでもう書く気が、議員さんの質問を聞いているときの町長さんの姿勢があまりよいものではないと感じた。発言内容を変えたり、記憶を消したりしない方がいいのかなと思った。

【問3】議会の傍聴を誰かに伝えましたか？

- 伝えた 14名(38%)  
(親・家族9名、同級生)
- 伝えていない18名(49%)
- 無回答 5名(13%)  
・家族に伝えました。町長と議員の方のやり取りの様子。家族に、議会を見に行っただ。すこかったと伝えました。

・なんの進展にもならないような話を長々としていたということ。

・町長の聴く態度が悪かった。家族に、大変そうだったと伝えました。

【問4】また傍聴したい？

- したい 28名(76%)
- したくない 8名(22%)
- 無回答 1名(2%)

【したい】  
・「羽幌のことや問題を知りたい、どのように改善や解決されるかを知りたい」が多数

・町を担っていく人のやり方を見て、これから投票に役立てたい。

・他の地域の議会を見てみたいと思った。比べてみたいと思ったから。

・理由はもつと議員と町長のやり取りを見たいからです。

・羽幌町がこれからどのような町になるのかわかることができると思ったからです。

【したくない】  
・毎回同じことをしてそうなので、もういいです。  
・傍聴したくない。特に興味がないため。

【問5】羽幌町にある課題や問題は何？

- ・宮坂ビルの対策を少しでもいいからしてほしい。他5名
- ・人口減少。他4名
- ・遊ぶところがほしい。他2名
- ・財政が厳しいのは重々承知の上で、もう少し行動力を高めてほしい。
- ・羽幌町は何に一番お金をかけているのかわかりたい。
- ・お金の使い方効率良くしてほしいです。

【問6】議会や議員の一言が伝わってよかったです。

- ・「頑張ってください」が多数。
- ・議員の羽幌町に対する思いが伝わってよかったです。
- ・羽幌町のことをよく考えてくれていると思いました。
- ・もう少し深くまでほり下げた話し合いをお願いします。
- ・もっと町のために何が大切かを考えてほしい。真剣に。
- ・羽幌町がよりよい町になる様に、これからも役場に町民の意見を町民の代わりに伝えてください。
- ・社会人になったら、羽幌町の役に立てるように頑張ります。
- アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。

4年間の議会広報の最終号いつも議会広報をご覧下さり、ありがとうございます。

4年前の議会広報の委員での目標は「今より多くの町民に議会広報を手にとって読んでもらいたい」との強い思いがありました。写真を大きくし、数を増やし、新たに町民参加型アンケートや傍聴者・子ども達の声も載せるなど工夫をしてきました。

今議会から一般質問の音声配信が始まり、来年度に向けて映像配信も予算要望しています。しかしネットだけでなく、今後も紙面を通じて議会や町政の様子を伝えていきたいと思えます。

4年間本当にありがとうございました。(委員一同)

一般質問の『音声配信』を  
始めました

今定例会より役場のホームページから一般質問の『音声』を聞くことができます。

議会の様子を感じていただき、ぜひ議会の傍聴にもお越しください。

